

動植名彙

三

二利 / 1275
3





動植名彙三

草部

波行

はまあかな

あまあかな 見上

はまあかな ハマニカナ

本和上十九 防風

波未須加奈 一名和同

大廿五三 波万須加

奈同五 波万須加 奈長防風

波未須加奈

はまあかな 見上

はまあかな

延防風 ハマオ

はまあかな ハムシロ

本和上廿五 地床子

比苗元之呂一名 名波末世利

動植名彙三



はよきみ

大五廿五 波万須美

はよちくき 下にはちちり

大世三十九 波万知久佐乃祢

はまゆり

万四廿五

はまゆり 上にはちちり参考スヘシ

枕三廿五

はまゆり

万四廿五 みまゆりのこもみゆりしるるるるにゆりたり
よらぬも拾遺下屏風よこまのこもゆりけりるるる
盛 ころもゆり人の心をこもゆりゆりゆりゆりゆり

頭昭注

此歌は万葉ノミクノ、ウラハマユライクカサ子ト云歌ヲ本ニテ
讀ミシクハハルノユクノ也熊野ノウラニアルハマユ也大卿食
カイシキニスル物ノカサ子トイ久モヘタル草ト侍リ但頭昭傳承侍
リシハミクノト云ツキテ世人多紀伊國ノ熊野浦トオモヘリ僻事
也コレハ伊勢國ノミクノ浦ノ又クノ浦トモイリクキニツキタルハノ
オホク重リテ薄クカルナリ人丸モ浦ハマユヲモヘルトヨリ大
卿食時ハ鳥ノ足ツムトテ伊勢國ニサル也ソノカタ芭蕉葉ノヤウ
ナル草ノ艷書カクモノノ思ヒト叶トイヘリヤスキ直ナレト世人ニテ紀伊
國トオモヘル云ク能因坤元儀云クノノ浦ハ紀國ニテリ彼浦ハマユア
リト云リ又能野ハ参人ニ道命カオカ歌云ワスルナヨワスルトキカハミクマ
ノ、ウラノハマユウラニカサ子ト此等ノ心ハ紀國ノ々ノ浦トキユ如何云
枕三廿五

夫濱木綿 後成 之態の濱申おとけてはくすみせこころ
のむつり きうね

はまとき

万四 高 かにたの色の海ときをりふせてたひ福やをい
あきそあし

はまも

あつらそとろ糸見エ

はまもい

名草芳荊

ハテハヒ・ナアエキ
オトロ・サルトリ

小荊 ハテハヒ
ナアエキ

はまろすい

字荊實

はまろくら

はまろくら糸見エ

はまひる

ヒシ

和玉荊

はまろすい

和傳木防己

はま

くらぎき糸見エ

はまろり

オヒ

本和上

貝母 波、
久利

和同

字貝母

於此一云
波万之利

万ハタ誤

大九一

波々久利名商

ハタクリ
イナヒ

はまろき

ハタクリ
ハウキクサ

はまろくら

大九十卒

波々支久尤撮壞蒂草

ハタキ

和玉蒂

ハウキ

苦

ハタキ

字華

芥

和玉筧

ハタキ

筧又華又華

はまろ

ハタクリ
ヒキヨヒキ

はるしくけ

本和上十七 菴蘆子 此岐子毛岐 一名波古 同三四 馬先蒿 此岐子毛木 波古 和傳馬先蒿 ハウユクサ 花紅白色 記和菌陳蒿 此岐子毛木 大五四 比支子母 蘆子 波古 又馬先蒿 此木子 長奄藺子 波古 名葎草 モ 蘆子 ハコ 藻八甲三 馬先草 こも草 又甲子

文德實錄一 嘉祥三年五月壬午云、此間田野有草俗名母子草二月始生莖葉白脆每届三月三日婦女採之煎研以為餅傳為歲夏曾丹集三月上 こも草 たるめ ハコ けぬ ハコ 夜宿のを 後拾遺 辨實方朝臣 踏 みるのよめ ハコ けぬ ハコ みるのよめ ハコ けぬ

いあり

はる

林節這孤 又菴蘆子

はるてあつら

少彦遺法 波婦豆加津良

はるつら

字端 波不辺良 もとつら参考スヘ

はみ

おのやうに余見上

はみき

目上

はかた

字續断

おのやうに余参考

はか

本和下廿八 薄荷 和 姜蒜類 薄荷 波加 名薄荷 分

はかつし

大五土土 半加豆美 半八字ノ誤乎

はたぶ

一万八共 大伴家持唐棣花歌一首子川よけてききく波
移受久方の兩打零はらうらひをいり 同四甲 卯もー
とついでーものを翼^{ハネ}酢色^{スイロ}之らうらひをききくかむも同
土四十一 やまふさのよ月^{ツキ}言^{こと}つゝの異酢色のあかめをわくいぬ
よんえつゝ 天武紀廿九 十四年明位以下進位以上之
朝服色淨位已上并朱草 此云波 泥孺
藻八四十一 木芙蓉
まやとくは びらき参考スヘシ

本和上廿九 大戦 波也此 和傳大戦 波也止久佐加 波也此
和大戦 波也此 止久佐

はやくとくはのめ もんき参考スヘシ

本和上廿九 澤漆 池也此止 和傳 同 延澤漆 藻八四十一

澤漆 まやいとくさ

はやいとくさ

本和上廿五 旋花 波也此止久佐 和傳 同 和旋花 一名美草
波夜比 一名加末 名美草 又施花 名ヒトクサ 字施復花 須万比止久佐本
止久佐 草云早人草

はかりくさ つのりくさ糸見

はいしと トラキ びらき参考スヘシ

はくくら 鉛へら

はくくら

はく

本和上世六 鷄腸草一名藥系蔓 波久倍良 釜更根源^上もくろ

和蘇系蔓ハ久倍良 字菴 波^五受及蘇系倭細草 又^波縷^波久^波又^波蘇

波不 名蘇系ハクハラ 長鷄腸草^{ハクハラ} 和玉蘇系^{ハクハラ} ハユベ

モキ、半

はくみら

大世七 六 波古美良

はくころの

医牛胡蘆^{ハクモノ}

もせをとも

本和上世九 芭蕉 波世乎波 和芭蕉 発勢乎波 名芭蕉^{ハセ} オハセ

木ハ セウ

はせをとものみ

医心 波世乎波 乃美

はせをの祿

和傳甘蕉根 波世乎波乃祿^西

はちま

和泉式部集 さあ〜もむき〜きものをとをくれはち次

の極^信か^友ん^接り^ス〜^ルニ^世ニ^本権^ヲハ^チス^オホ^ハチ^スト^モキ^コノ^奇ニ^ヨ

ヨモキ^ノ夜^テ奇^サニ^キコ^エス

はちま

和玉芙 又 蓉 又 荷 又 蕖 又 蓮 又 菡 又 藕^{ハチ} 名芙蓉^{ハチ}

芙蓉^{ハチ}ス^{ハチ} 藕^{ハチ}ス^{ハチ} 荷^{ハチ}ス^{ハチ} 加^{ハチ}ス^{ハチ}

ス、ナス 菡^{ハチ}ス^{ハチ} 類^往藕^{ハチ}

もろき シカキクサ

万三 キク かくのこもありもろきものと茅子チのもろきとありや

とひーきみ 同三

和鹿鳴草又萩 名萩 一 芽 一 茅子 ハキ 蒲 キハ

キ 和玉萩又蒲

はる ス

名薄 ハナスキ 花薄 ハナスキ 芋 ハナスキ

はる ハナスキ

大五七 久流久佐 一名波奈多支

はる ス

大五十八六 波奈久佐

はる ス

大草 ハナスキ 波奈多久佐

ハナ草八月草トナラハク長門国八月草トナラハナタト云

はる ス

万四 ハナスキ をみ ハナスキ 花勝 ハナスキ ころも ハナスキ

六帖 ハナスキ 六帖 ハナスキ 六帖 ハナスキ 六帖 ハナスキ 六帖 ハナスキ

刀花 ハナスキ ころも ハナスキ 人地 ハナスキ ころも ハナスキ ころも ハナスキ

はる ス 波奈久佐

はる ス 波奈久佐

字大青 波止草 和大青 波止久佐 一云 和傳大青 波止久佐

久佐

はる ス

大世九十九 波度加美

はーのこ クレノハシカミ・アナハシカミ・ツチハシカミ

和乾薑 保之波 和名同土 名薑 クレノハシカミ・谷云アナハシカミ・ツチハシカミ・丸ハシカミ

はーらみ

撮壞靴 和名抄トアリ

はーやき

大世六十 波自由頂

はーくき

延大青 ハシクサ

はーらめ

大五十 波久流女

はーあ

字萼 波久佐 名萼 ハシクサ 和玉萼

はたすらみ とらむらさ見

はたつこ

大五十五 波多川美

はーらり

夫

六帖

はーらき ヌキ

万一長 阿騎乃大野尔旗頂為寸云々

はーらあ

延連翹

はーらあ

大世九十九

半利表祢

はりくた

林節鍼耳多

類往鍼草

はむらら

大七十四

波比呂良祢

はら

字箴

ほえくさ

字大戟

念昆頂一云
波衣草

澤漆

大戟苗生時
波衣草苗

はつらくち

詞花

因香

咲くは散るをばてんはほとふいのちとせせ日

径よりり

此寄八百詩牡丹茅之花同花落二十日一城之人皆如狂トアルニ
據リ五九〇

藻八上

もろふ

牡丹

詩経古訓

芍薬

ハツカ

ひらき 比行

本和上共 黄芩 比々良岐一名 名芩 ヒラ、 黄芩 ヒラ、

和黄芩 比々良木楊氏漢語抄云杜谷樹一云也戟天 和傳黄芩 比々良岐一名波比

伊字同

ひらき まやひらき防条考云

延大戟

ひ

本和上共 芩 艾實比之 字芩 深知及云 菱 比伯及水中ノ菜也

藻藻 二作青道及水菜藻 藻 比志 長菱實 比志 新韻藻 比志

和菱又 菱又 菱又 藜又 菱 比志 名菱 比志 菱子 同

菱人 比志 菱 比志 解若 比志 類性菱 比志

土

万七廿三きみうのあきぬの池は菱とらとわらわめりてあれ
まゝのりも同共共豊国乃企玖乃池奈流菱之宇礼乎
採跡也姉之御袖所沽計武六帖六帖一あまて
ハころろほそこの池よせらむの下のぬのまれころろ
也

ひーのも

和傳菱實

伊字同

ひーきも

ひたきも奈見全

ひーき

同上

ひーこあ

和玉菰

いきのひたひうさ

ヒキノヒタヒ・ミラノネ・アケラネ・マカタチ
ヒキシタヒ・ミラノネチ・アヤニヌハ

ひきーたこ

ひきのーたこ

本和上十六

細辛

美良乃祢一名比岐
乃比太比久佐

和細辛

美良乃祢久
一云比木乃比

大比
久佐 名細辛

マカタチ・ヒキノヒタヒ
ミラノネチ

大廿五七

比支乃之太比

同五七 美良

祢 一名比支
乃比太比又美也

同廿五三

美良乃祢久

差和傳細辛

比支乃比太比又美也
未奴奈波

ひきよもきハコクサ 参考スヘシ

大五四比支与母記字菴蘆子

葦苾使菴蘆又大
蓬比支与毛支

和傳菴蘆

子 比支与毛支一

茵陳蒿

一名青蒿 比キヨモキ
又カウヨモキ

延茵陳

蒿 比キヨモキ

名馬先蒿

同 爛石蒿

同 茵陳蒿 菴系

蒿 全

ひきよも

大世七廿 比支表古之林節 延命草 ヒキオ

ひきまき

延菴蘆子 ヒキマキ・又マキ・ヨモキ

ひきまきノ参考スニ

ひきまき

林節 延命草 ヒキオコシ

ひめかき ハカ、モ

本和世三 徐長卿 比女加 和徐長卿 比女加 医加毛 和傳

徐長卿 比女加 又波奈和良

ひめくさ

大世五十一 比女久佐

ひめゆり

六帖六 夏の影のさくらよ 咲くひめゆりのさくら

夏の日よかり 土御門御集巻のたのつらさくら

ひくち あやめくち 糸見ユ

ひるむし ハマセリ

字蛇床 昔年志呂又云蛇粟又蛇米 伊字蛇床子 比留

呂一名波 名塔 比留 長蛇床子 比留年 藻八四三 比留

ろ継子草 草枕三五 ひるむし

ひる オホヒル

和蒜 比流 大世八十一 比流 称和玉 葫 又蒜 比流

應神紀 六下 伊弉阿筑怒珥 比蘆 兔 游珥 比蘆 兔 游珥

和餓喻 區游智珥云々

ひらつき

和搗蒜 比流豆木

万六十八ひしほ酢ひしほ搗かろそ細もかろわすゝる見
せそ水葱のらつもの

ひらつき

名蒜顆 ヒルサキ

和蒜顆 比流 佐木

伊字蒜顆 比流 顆同

ひろも ヒルムシロ

ひろむしろ

大孩含紫菜 比流毛

救荒本草 含子菜

ひろと 同上

ひろめ えんまめノ糸見ユ

ひろく

本和上辛

白鮮 比都之 久佐

伊字同

和傳白鮮皮

比川之 久佐

ひつち

おろおひノ糸見

ひさこ ヒサコウリ

延土瓜 ヒサユ

和玉瓢 又瓢 又葫 ヒサコ

類徃瓢

ヒサコ 和傳

王氏 ヒサユツリ

乃祿西比佐久 花白在下 結子如彈丸 固徑曰花黃 謂之比佐久

本和上

世王氏 比佐久

更科日記 ひさこ

ひさこつがかり

艶壳 ヒサコツ

ひさこつり 見止

ひさく 見止

ひさこつる ヒサコウラ

林節

大 比差古川流本和上 四八 鳥嶺英 比佐古 和傳 同 伊

字全

ひさこ ナリヒサコ

紀土九

十訓抄一土 同七一 ありむさこ

ひらむら

大五 比良無波良

ひらき

名蒜 ヒラキ！ヒル。オホヒル

ひらき

大世六三 比良と祢

ひらき

林節平耳 伊字菌茸 ヒラタケ 類往平茸

字拾遺

ひらまめ

和傳菘豆 比良末女 阿知年女

ひとむら いもはなノ糸 評

和傳石茸 ヒトツハ又イハカシハ 伊波乃加波伊波久佐

ひとり ウホクサ

和傳葱實 和玉 葱 又 葱 林節葱 葱同

七十一番職人 尽歌合 一り 五番 こむとよとりの

あまのい子 かきやらあまのむら

ひとむら

和獨子蒜 比止豆 比流 名獨子蒜 ヒルツ 伊字同 十六

ひとよたけ

名朝菌 ヒトヨ

ひとりのときく

かきつねともきりふ見エ

ひとひこ

字薊 正頌方及附子也 借鋌刀及一比古

ひらひこ丸ヒ

ひ

本和下世五 比由 苺實 比由

和苺 比由

馬苺 比由

字黃蘗 二作求 比及草

器又赤苺 比由 名黃 比由

苺田

長苺菜 比由

ひ

和玉苺 ヒウ

ひ イネ

伊字晚稻 ヒ子

ひえ ヒツミ

和稗 比衣

字稗 比江

名稗 比由

和玉稷 又

黃 又

莠 比由

大五 比返

都美

万土土 比由 稷多 比由 あり 比由 と 比由 ん 比由 け 比由 り 比由 べ 比由 ぬ 比由 える

ひとりのめ

いち ヒツミ

大廿廿 比知母 今云万 久利

同廿五 比由 万久利

いち ヒツミ

字真 比由

比地加豆良

ひ ヒツミ

和鹿尾菜 比由

撮壊 比由

名天味菜 比由

ヒス 比由 一 比由 七

伊勢語 ヒツミ ひと 比由 と 比由 こ 比由 有 比由 り 比由 き 比由 ざ 比由 ざ 比由 り 比由 女 比由 の 比由 ち 比由 ぐ 比由 ち 比由

しきりらふおとやとそへおひひくふおひくらの宿り
宿りらんひひしきりのま神をーつて

ひうけつら ヒカケ、ヒカケクサ、引敷物

ひかけ

和藪 ヒカケ 名藪 ヒカケ 大六十亩 非加介久差

古語拾遺

六帖六 シウケ

ときをあるひうんの

おつらりやいんおのろ工おうくみえけし又今こね
ころをそ君よおく山のおひいそそふあひ生たり

土御門御集 神代よりくくぬやみのひりる子たえぬま

とりくさくもりんや枕 三 同四共 同五九

中務集 ひくろらんをつてみく後りそくりに 此書哥と

ひくろく

林節常陸草

ひくろり

大五世 比奈布利 藤曼中部

ひがかり

和玉離

ひこそえ

和藪纂要云斬而又生曰藪 魚列及 和名 和玉梯

曾丹集 二月中 あつ山田の去年の古跡のや存遂今もあつ

ひこそえ みたり 新古今春上 毛合リ

ひこそえ

和傳土馬駿 比佐之文已計 古牆垣上有之

ひこそえ みたり フルキヨネ

和傳陳廬末 比佐之支子祿
廻布苗支子祿
ひくら ほのくら糸夏

布行

ふき フキ

本和下甲 昭茎菜 布岐 和落 布木 字落 不支 落木同 名落

フキ 和玉露 フキ 和傳昭茎菜 不字支

ふら フラ

大世一セ 布留祿

ふら

和藤 布知 其子狼跋子名藤 フ子 藪 カツラ 和玉藤 又

藪 又 藪 又 藪 フ子

万三三子 友浪乃もふらかりよふらり

万六

ふら カツラ

本和下一黄環 布知加 却良 伊字同 和傳同

うぢのみ

本和上 狼跋子 布知乃夫 伊字同 和傳同 藻八 置 ぶぢ

のみ狼跋子

うぢをかま

和蘭一名蕙 布知波 賀万 名蘭 フチハカフ、チヒル 蕙カチハ

伊字蘭 フチハカフ 新撰万葉集 藤袴万葉目録一名蕙 水香同 前漢草 同 蒜同

荃同

六帖 卷五 云人のそのうぢりやあまの海君乃所のはとゆ
はらりふ又人のののまゝふぢまのまむもはらりや
うぢり又あまのまゝめきこゝる 後漢今秋と有り
那とを白き

うぢをかま

本和上 四九 蒲公草 布知奈一 名多奈 和傳 蒲公草 布知奈一 了奈 名蒲

公草 フチハカフ 一 構褥草 同 伊字 蒲公草 フチハカフ 大五 十三 布知

奈和蒲公草 不知奈一 云た奈

うぢをかま

大五 世六 布自加武呂

うぢのみ

字石龍芮 不加豆 弥又云牛乃比太比 又地堪又彭根又天豆 本和上 廿八 石龍芮 乃比

多此久佐一名 布加都美 名石龍芮 フカツミ 伊字同 大五 十三 布

加豆美 也未須介 多未須介

うぢをかま

本和上 廿三 牡丹 布加美久佐一名 也未多知波奈 和傳同 伊字同 鹿菲同

ヤマダケナ
ハツカクサ

うぢのかまのひたひた参考ス

風姑 同 百兩金 以上三名ノカミナリ 和牡丹 布加美 世藻

八五 延牡丹 大五世 布加美 久佐 同

七十六七五 布加味 同七十六七六 布加味

新古今八神 六条の撰政のれは後々之を以て牡丹
の咲く侍を力とす 女房はもとよりつらつらと侍を以て
大宰大臣皇家形見とす 水敷のやうに染るよ中の有る人

夫山橋

名鹿 並 好

ふか ウキミルニ元

万三十九 つねさともいふみのうらみこも 華の

里もろく深海松あまき

ふり そき余見ユ

ふた ホトツラ

本和上 世 百部根 布止 都良

ふ かちかき余見ユ

ふ 同上

ふ 下ノ子申き合考スヘシ

本和 下 世 茶菜 布都 久佐 和傳 茶菜 石川 久佐 大五 十五 布

都 久 差 伊 字 龍 葵 茶 草 好 茶 菜 菴 葱 冬 葱 フクキ 延

白頭翁 石川 信友 持遠 列ニテ 齒示シト云モノアリト或人イヘリ

ふ

和冬葱 布果 名冬葱 フキ 伊字 茶菜 又 菴葱 又 冬葱

フキ

ふ申とらり かくまの糸見工

ふぢり

和玉鞆 ヌクサ

ふくべ ヌウカホ

太五共布久倍一名申布加保新韻瓢 瓢也フク

源夕顔

宇玲遺

枕三芒 中子

ふす いらると糸見工

ふきり かし かし かし 糸見工

ふてつさ

十藻八九 糸見工

ふき 糸見工

ふき 同上

倍行

べよのそま

くまのあな系見ユ

べよとけ

類往諸草

へいのちこ

へいりやま

和傳蛇毒

偏比伊知己西
信美乃以知古

本和上 四十六

蛇莓汁

信美以古

へいのちこ

見上

へみつちこ

見上

へみのほろくき

オホ、フミ

字虎掌

蛇枕又地乃
富曾久佐

へよそかつら

和玉園

カツラ

和傳百部根

保止都良へクソカツラ
一名婆娑草

ほうらんヒサゴ

七十一番職人尽歌合をち乃ぎ四十九番おとやう多々合え

そゆほうらんの志めくらの志のよ結ぶら

へんちく

伊字班竹 へんちく
一名涙竹

保行

ほうしき あやち糸三許し

藻八里 酢醬

ほいナホ

和玉米 又 穂 又 穂 亦

ほうし つみりひ糸三見工

ほうし

藻八里三 天名精 ほうし

ほそくみ カタホソ ほそくみ参考スヘシ

本和上四十二 半夏 保曾久美 和半夏 保曾久美 大五五 保曾

久美 一名加多保曾
校草云半夏

ほうくさ

大 保曾久佐延半夏 ホソクサ

ほそくさ

本和下

和熟ハ 保曾知

名席嘗手 ホソクサ 又

熟氏

ホソクサ

信友傳虎掌ホソクサ訓ニ多クハ
オホソクサニ書誤五ハシ

著聞集

曉行法師

山一乃のほそくさ 合符りらんふらみ

ハシタニコウケリ

ほそくさ

名帯 ホソクサ

ほそくさみ

大四五 五十四

保曾加良味

ほそくさ

字集 志乃保曾太ケ

ほと おトツルノフツラ

ほとつる

ほとつら

和百部 保止良

大五土

保度豆良字百部 富度又石長

生 保度

本和上帯

百部根

布止都良

和傳百部 根由止名

婆婦草 保

藻八甲ニ 不とつら

ほとつら

大 保登布久

ほとつら

公夏根源 五十五

ほや ヤトギ

ほよノ条参考スヘシ

和寄生

夜止利木 一名保夜

名葛 オヤ

和 同

廿五

又辟 ヤトリキ

ほよ ほや糸参考スヘシ

字萬 都交及寄生 万十八世

散木俊頼 保与 一 保子やとゆやのねのこまのこま

よおとくそおや

ほ ほら

和乾薑 保之波 加美 名乾薑 ホシカ シカ

ほ ほら

大廿六 西 保之榮乃美

ほ ほら

字土陰摩 保志和 良比 信友母工陰摩六玉名類と八乾麻ノ誤カカ

ほ ほら

大五 四十六 保乃久知

ほ ほら

大五九 世 保介乃美

ほ ほら

名芝 オウド・ヌムニロサリ。又ホラ 一名サハツラニ又サクシハ

ほ ほら

和傳胡

ほ ほら

藻 八中ニ 杜衡

ほ ほら

枕七世

栄花 モウチナ 七 さいひほくらんがきてーとあり

蜻蛉日記 天禄元六 中僧房よりみくく足ー出れ前

中世後をくしてまゝ何れも知らぬ草もとをきかすなり
と云ふまゝとすも形をたゞをきかすをちりもすゝと云ふはさうな

信友按此草漢国ヨリ来ルモノナルハク思ハルニ三河国人云其国狭拔
神社アル様投山ノ奥ノ巖澗ニモ紅白等ノ牡丹多クアリカワテ
人ノ植ヘキ地ニアラス伝ヘサレハモトヨリ皇国ニ在来ニモノ十カウ其ハ
希キモノニテ普ク世ニアレハ漢種ナルヘシ又大井川東海道ノ三十里ガリ
川源ノ山中ノ巖澗ニ紅白ノ牡丹アリ茎タテ高ク葩モイト大キナリ
トソコ或モノコノモ大井川源ヲ尋ネシトテ深山ニ入タル話ナリトテ峯原善
一話ナリ ぼくなんハ牡丹ナリ女房ヲよぶるぼくハ例ノ字音ノ音便

ほつきの花

和傳山慈菘 保字川支乃祿
一名金灯花

末行

またらひ ヲタヒ

本和下四 木天蓼多 和多比 和藟醬 和多比 木天蓼多 和多

比 大世六五 和多比 医木天蓼多 比 和脱シタケナリ

和傳大天蓼多 比 多比 医千藟醬 マタヒ 林節 天

まゝくちり

和班氏 未だ良 黄班文氏也 伊字同

まゝくちり

和白慈草 万太布 大五 廿八丁 万太布利 和玉茲

まゝくちり

名白慈草 マタヒ

大五十五 末多天

またこのり 万支比川美

和傳杜衡

まさくさ 万支比川美

まさつみ

大五十三

まさひ

大 万支比

まさくさよとき 万支比川美

延菴蘆子 万支比川美

まひりくち 万支比川美

まよりくち 同

医苦参 一名末止 和傳

まむくち

今昔 廿八

林節舞茸 類往 同

まかやき のりせうらり 類往 同

まかばり ひきのひはひ 類往 同

まかこ

字薇 先非及菜 無水也 白薇万可古

まつのり 万支比川美

まつだけ

類往松茸

まめから

名萁 カラニメカラ 頭 カラ 字萁

和玉萁又萁又萁

カヲ 和頭 加良

まめのじや シヤマノ

本和 四十二 大豆黄卷 未女乃 七世之

まめ オホマメ

和大豆 下末 和傳生大豆 未女 珍保 名菽 マ

万世 三 道ののうまののうまの こま豆のうまのうまのうまのうま

なるゆき 抄

まめつぎ マキマ

和大豆 抄 未女 豆木 延末 豆子 マキマ 大 奈式 十六丁

まめのし

名菽 マノハハアヒ

まじき ニシキ 糸見 ユ

まじき 同上

まじき ココモクサ

伊字菽 ココモ 和玉 蔀

六帖 春駒の浮色のまじきまじきまじきまじき

いきみ 万土世三 まじき から大ゆき 水徳 りよ

姉 が徳とく 水徳

まじき 見上

まじき ワラヒ

和傳 蔀 和良 比

まじき け

大五

まろつね

まろノ糸見エ

まろり

いちも糸見エ

まろりも

同上

まろりひ

あら糸見エ

まろり

同上

まろり

同上

サ

名仙靈毗草 ウムキナ 伊字仙靈毗草 又 淫羊藿 ウムキナ

まろりすに

まろ糸見エ

まろり

万七土 皇神祖之神宮人冬暮積弥常敷尔吾及将見

今本訓誤

古帖六まろり

まろりげ

林節茉莉花 マロリゲ

美行

み、け

字英 而无及上
弥々太介

みやまぬあし ヒキノシタヒクサ

医細辛 奴美也木 藻八四三 細辛 みやまぬあし 字細辛 祿良乃

似地 長細辛 祿久佐 伊字細辛 ヒキノヒタヒクサ ミラ子クサ 字細辛 祿草又

みらの祿くさ みやまぬあし 見ユ

みら祿くさ

延白芷 ミラ子

みら ミラ

字葱 相カ及 莖

名莖 コミラ、ミラ、タ、ミラ

莖 オトミラ、ミラ、ヒル、ナノミラ、ミラ

みら コクサ、クロクサ、クロナ、ヤエミ、アコナ

名白薇 ミナシロクサ 伊字同 又白蜜曾 ミナシロクサ
又紫草 ミナシロクサ 延白薇 ミナシロクサ
拾遺 長 杜若 ミナシロクサ ありーりりゆりゆりゆりゆりの葉をミナシロクサ

みあしん

伊字紫草 ミナシロクサ 延白薇 ミナシロクサ

みのちん

みのち 共ニミナシロクサノ葉ニ見ユ

みの ミナシロクサ

みのち

大五十七三 美乃久佐和草子美乃 字表 未乃 又表 未乃 又阿

伊字表 サノ草名 可為雨衣

也田乃 又董 多動及正也 名莎草 サノ草

法隆寺資財帳補正 壹拾玖枚長貳拾玖枚云々 按長表字誤

赤染衛門集 このを 皇大神儀式

年中行事 四月例云々 以御笠縫内人造奉御表廿二領御笠

廿二蓋云々 表ハミナシロクサノ葉ニ用ルカ

そとこしてミナシロクサノ葉ニ用ルカ

そとこしてミナシロクサノ葉ニ用ルカ

みのむき

大六十一三 美乃無支

みのり

名苔 コケ・イリ・ミル

みくり ミクリネ・スケノネ・カハスケノネ

みくり糸

みくり糸糸

本和上 莖 莎草 美久利一 和三稜草 美久里 和傳京三稜 須計

西ミクリ一説松栞 名莎草 三クサ 林節薛 莎也スケ

川スケノ子甲ミクリ 名莎草 三クサ 伊字地髪又三

ククハミク 大世七十五 美久利祿大十三 三 美久利寸賀祿

名莎草 ミクリ 字仍 而證及草木前力 伊字地髪又三

稜草 又 莎草 三クリ 藻八廿 莎草

六帖六 ミクリ 法まほせ生るこく此水もやこも法りみぬ

よ人の志もき又志出てふさやまの池のこくりこそひけハ

たえとれ我や法もや 枕三三五

万代九 有房 我志をぬみみりのこくれと法もふとを

よ志をぬしうふ夫

みくり糸 見立

みくり

藻八丸 薄みくり

万九秋のねのこくみりやき宿しうーと此法のつりほ

ーのりゆ

みくり糸

本和上 鼠尾草 美曾波岐 和鼠尾草 美曾名鼠 三ハ

和傳見尾草

みづぼで

本和上 水蓼 美都多天 和傳同 伊字同 名水蓼 三ツタ

三

公使根源上五 ミツタテ 長水蓼

万十音ミツタテをふり出くぬ蓼を植つるにり野
ミヅウキ ミツフキ

みづあき

本和芫 鶏頭實 支那布、和芫 三豆布 一名鶏頭草字
次 疾脂及蓋屋芫 巨陰及鶏頭 芫 水不支 孔公磨 水不
名芫 水フキ 芫 水フキ 芫 水フキ 伊字芫人 ミツ
フキ 鶏頭草 同 鶏頭實。為子。天門冬 フキ 和傳鶏頭
實 都布之岐乃美 医千芫 フキ 和玉同林節水路 ミツブ
鶏頭草 同 藻八 四三 鶏頭實
みづあきせり
林節芙蓉葉

みづもろ

書言字考 表題合類 前胡 ミツバク
大節用集 ウタナ

みづみ

大世一八 美豆布天

みづゆ

大世三兎 美豆祿

みづぐさ

新會菅ガサ 菅葦 同 和玉薪 又 荑 又 蒼 又 軒 又 葵 又 莖
并

みづあき

撮壤澤茄子

みづき

林節菫 ニツキ

みづがき

林節苜 ミツギキ

みせり

和傳水蘄

みる ミルノ。フカニル
ウキニ。ウニマツ

和水松 美苗 名苔 コケノリ
ニリニル

万五長 暑 ゆゑもゆき布うきぬの海にのりて

みるめ 見上

みりーは

林節道芝

みちやう

大四十世 美知布利

みさくら

大五七 美左久佐

みてらら

大五七 美天久良

みどりこ

大五 穀類 美度利古

みどり松

大五 藤蔓中 部 美度利祿

みどりあ

大五 藤蔓中 美度利古女

みたうら いちすり糸見エ

みまぐち

栄花裳着の田極ろとゆあらんせさけく糸の方よまみれ

みまぐち巻みまぐちをぬりて極ろ田を君ふとせのまぐちよまみれ

よりぬもすれま大ををまぐちよまみれ

催馬樂 我鳥井 花鳥井よまぐち

かもさじりー みまぐちよまぐちコレハ御馬草ニテ 録アルヘシ

みまぐち

和傳龍旦美加奈

みまぐち

藻八里 氏帯

みまぐち

和玉櫓

みまぐち

万二土 こそしる信乃のまぐちゆひかえらまみれ

あといらんかも

武行

むらさき

本和上 紫草 元良佐岐 名紫草 台ラサキリ 此台サ

此炭粉 藪同 和紫草 佐岐

万三 上 生流紫 さいそめいさくきりてり

又出まわり

むらさきのりヌメリ

和紫菜 元良佐 名紫草 台ラサキリ 紫苔 スムリ・ムラ

紫菜 台ラサキリ 石薺 台ラサキ 長紫菜 台ラサキ

むらさき

医律草 年久良 大五十五 年久良字梨 年久良 蔽葉 年久良

万四 上 台ラサキ 時より始を年久良布能けりきやとり

りうま所めん同上 八重六倉 同九四四 年具良
波布伊也之伎屋戸母大皇之座年等知者玉之可麻思乎
古今六帖 枕三廿五 や(ひくく)
名篠 ヲカラ 荊 ヲカラ 和玉律

ひくろ
大甲一丸 年久路

ひんぎ
本和上五三 五加 年古岐 和

ひぎ 年カヲ
和麥 年岐 和玉遂又穡又 稍又麥又麩又麩
万五共 らもをうよまをいひ弱のれ申もと作しんあ
らくまぬいあつも

むきから 年カヲ

むぎをら
和稍 年岐 加良 麥莖也大 年五甲 無支波良 伊字麩 年カヲ 和玉
同

むきのくろこ

和麥 年岐 久呂 乃
むぎこ

和玉麩 又 麩 又 麩
むべ りへ糸見工

むほちのこ りもら糸見工
むおかり

益三三六 無奈加利

印 一 乃 乃 糸 考 考 スヘシ

字 霍 古官 又 筆 也
年 志 呂 井

む つ き ぬ つ き 糸 考 考 スヘシ

字 隆 年 可 豆 又

い ま 石 ら

延 偶 活 元 末 不 良

む ま くら

延 白 芷

い ま む ろ

字 白 芷 駢 此 苗

い あ ろ くら

延 白 芷

む サハウト

名 芝 サハウト

女行

めアラメ

林節和布ノ

伊勢物 妻をうみのほまきく 人を足るめくめくをせまも
たのまきくふ百三十三 志のあまはめうり後やきくはるまき
くくものお櫛とりもみあくま

めとメトキ
メトキ

めとき

字著式脂及信巴高也 名著百メトキメト 和傳著者実 又安之久佐
又女止久

止伊字著者ノ 著實楮実 已上メト 撮壤著者并 和玉著

藻八四三 著實

古今物名 花の本よあきめとも咲きくふりしりこのみ

あつらひ

めとくくは 同上

めくは

大五九 免久佐

めをー

本和七七 菟蔚子 女波之岐 和傳 同 伊字 菟蔚子 又 益母

又 貞蔚 又 苜蓿 ノハシキ 和菟蔚 長菟蔚子 女波之岐

大世二 四二 女波自紀 字 菟蔚 又 女波 又 支 又 云 益母 又 益明

名 菟蔚 ノハシキ 上ノハシキ 和玉菟 蔚 又 益 ノハシ

藻 八四二 菟蔚 ぬき

めかま 加マノハナ

本和七七 香蒲 女加未 和傳 同 伊字 同 鷓麦 又 香芦

め

本和下 世 白菘荷 女加 和菘荷 米加 名菘荷 ノカ

めひる 〇ヒル

伊字 蘭慈 僧尼 令云 五年 四曰云 和玉菘 〇ヒル

めい

名 芝 ノヒ

めい

大五十九 兔之波

めつら

大四十六 四十七 女川 良夫 為家 比 於家 の 山 産 の 一 だ め つ ら

めつらー せあくぬき 神さ

めあゆみ ノヒ

和傳鶴虱

毛行

七、モハ

和藻^{モ一云}モ波^{モハ} 水草也名藻^{モ一云} 伊字同 和玉藻ハ

万四十三 ^{かもみこのりつ藻のしりりきませわうせこと}

きりたす 常神紀と項者於止屋澁多生^{妻此云} 妻^モ

七、よる所

万廿六 父母我等能く志利弊乃母^{モハ}余具佐母^モ子伊互

麻勢和我伎多流麻互清輔集 あらふとくとのむらさ海

も百代草との葉^モ君^モか夫百代草 頭昭

藩ハ世つ内々又^モ百夜草

りちつ^{イハッ}シロツレ

字羊躑躅

夫六 厥季の 況者もを 寄謝 踏也といふを 倭新 けり
川に 初もを 寄すも ちつと ぞよ なる ちひ けり ちつと

や

とちの糸

撮壤 モケイネ

とちの糸 モチノヨネ

とちの糸

大五世 母知子祢字糠

和糠 毛知乃 長糯米 子モ

ノヨネ

とちの糸

詩經古訓 豊草 子

とちの糸

本和糠 麥 加良須 和 加良須
毛岐 和年岐

ひぎととぎと通ハシイリ

とちの糸

本和土 四 律草 毛久良

和律草 毛久良 名律草 ハクウ

とちの糸

本和下巴 薜子米 毛也之

とちの糸

和水雲 毛豊久 式膳 毛都久

とちの糸

林節藻塩草 按土物 子あふ久
モシテ 藻ハ四

とちの糸

あふひ 命見ユ

とちの糸

和丑草

とろろき

和玉菜

ゆえきりーかみ

名紫薑 モエハシカニ

とろろらよ

名木蘭 モクランニ

ゆきばらの花

和傳拔菓

也行

やまをげ カブス・フカツミ
タマス・キ

本和 三 麥門冬 也亦
瀬介 和同 伊字同大五 三 也亦瀬介 一名

加布 同五 三 也亦瀬介 一名タマス・キ
又フカツミ 名尊 餘糧 ケ
ヤマス

守麥門冬 山管又云烏菴
又云烏菴 菴 財吉及
山瀬介 菴茹水芋 和傳麥門

冬 ヤマヌケ
ヒテ・セウカヒケ 同四 二六

万四 二六 山菱の三 あし ぬとをわきよるいしれ きこい 津と

とろろん 和泉武部集 秋 これ ものさきき うら 山 も のさき

たろとろて おと き ち あ い ん の の じ い や ま げ の こ ろ こ ろ こ ろ

やまをら あまの糸見

やまをら あまの糸見

大世八三 也末依比

やまのいし ヤマノイシ

本和上 署預 也末都以毛 伊字同 大五七 也末豆以母和山

芋 夜万都以毛俗云 暑預 山伊母 名 薯蕷 山ツイモ

山芋 ヤマツイモ 谷云 和傳薯蕷 ヤマノイモ 和玉薯 ヤマノイモ

預 同

やまのいも 見二

やまのいも 同上

やまのいも

本和上 房葵 也末奈 和防葵 夜末奈 和傳 同伊字同名

防葵 ヤアナ 房葵 同 大五二 也万奈須比

やまのいも

和巴戟天 夜末比良 本和上 巴戟天 也末比 大五一 也末比
良之支 同世五 也末比良岐伊字巴戟天 ヤマヒ 天精 ヤマヒ
ラキ

やまのいも 多ノイキナ 名々参考ス

字龍膽 大豆乃伊久佐 又云山比古奈

やまのいも カハセリ 字當歸 山世利

やまのいも ナムテノミ

大世三 四九 也末之多利

やまのいも ヤマトコロモ 本和上 延 也末止 医知母 也末志

知母 僕奈 同 只菜 二八 和知母 夜万之 一名 兎草 字 茹母 已呂 山止

山吹

一名 野蓼 名見草 ヤア 和傳知母 ヤマトコロ 又イマトコロ 伊字

知母 ヤマトコロ

古今 ヤア 平あつゆき 郭公みきのやまや ちりしり

といきけとらりしなり

やまとうろ 見上糸

やまとうろと 同上

やまとうろくさく ちびきか糸見エ

やまとはらかみ

和傳薑黄 ヤマトハシカ

やまとうろでー おトコナツ・ナデシコ

古今 上 日れの名哀とハねのもんきり 後 日れの名きり
てーと 同 恋 何れ恋 今も恋 かしら川の橋がまはる

やまとうろとー 六帖 あてー こ り お も も さ き い す め と 我 心

との やま と 稚子 泣 け こ せ や ー

やまあきき おろも糸見上

やまあきき ヤハヤマフキ

字 株 枕五三 山吹 和玉前 ヤア 新韻 礬 ヤマフキ

名山 礬 ヤマフ 伊字 疑冬 虎鬚 山吹 金銀花 顯冬 女

兔葵 五冬 於屈 耐冬 ヤマフキ 名オホハ

六帖 ヤマフキ やま やま の む こ よ と 色 も は く く さ と 若 め の も の

階 も り り 心 い 重 あ り あ る 者 見 ね 山吹 の 下 ま へ を 井

の 性 ハ 我 宿 の い そ 山吹 の ち る さ え 春 過 け と み う そ か

あ ー き い あ し ー お い や へ ん ま あ き そ う か ち ら 屋 と ー

を ね 君 く ん い ま ま 百 二 廿 五 山 あ き の 三 ー ち い ー ら 山 吹 吹

沼のやめと道めをうらゝ同七廿五
うらゝも君のひさかたをわらめやも

やまのり

大 也布布利 按山吹万上山坂を言々此の也布布利也
ヤマノリキクサ

やまのちもれ フカシクサ

延牡丹 ヤマノタ 夫山橋 藻八三 牡丹

万廿五二 気能己里能 由使尔 安倍互流安之比奇之夜麻

多知波奈乎都 尔通弥 許奈同四四五 阿 川の山橋のろ

よつてかゝるひつきてあはこもあゝん
信友瑞々上橋の俗よりやぶかゝるしとありありやみさゝ牡丹のことあり

やまのけ ヤマノケ 伊字梨蘆 ヤマウハラ

一医梨蘆 ヤマウハラ 也布久佐 和傳梨蘆 ヤマウハラ ヤマウハラモト

名梨蘆 ヤマウハラ 一云 伊字梨蘆 ヤマウハラ

藻八三 蜀漆 字恒山 山字豆支

やまのり 大廿八三 也万宇止

やまむぼら ヤマムボラ 糸見

やまむくら 同上

やまぐら 同上

やまか ヤマカ

やまのり

和 木和上四十三 白歛 也未加 和傳 同 伊字 同 名白歛 ヤフカイ
大 也未加美 和傳 也未加毛 西 ヒヨドリシヤウコ

根也

やまがり

大五廿五 也万加豆良万古廿五 河のいづらに落す

はらもろくろくきうんをいさかきん

やまごりめ

大五廿五 也万加古女 同四廿五同

やまがり

延白藪

やまがり ヤマゴリ

本和上六 狼毒也末佐久 和狼毒 夜末 和傳狼毒 也末久 佐又云

也末己女 伊字狼毒 ヤマゴリ

やまごり ウリヒスノサルカキ
サルトリイハラ

大六十八 也万差良之

やまがり エビスクサ

字勺薬 衣比頂草
又山佐介

やまごり ヤマゴリ 赤見工

やまごり ヤマゴリ 赤見工

やまごり ヤマゴリ 赤見工

やまごり ヤマゴリ 赤見工

やまごり ヤマゴリ 赤見工

和傳商陸 一名也末
己波守

やまごり ヤマゴリ

和大前 夜万河 延續断 ヤマゴリ 同蘆 姑同名大前 ヤマゴリ

伊字同

やまあゝ

大五占 今也万何久

やまあゝ

枕五占

同三廿五

万九統 多 此なるのあゝもすそいさやまあゝもすれりさ
ぬきて 辛夷

やまあゝ

あゝき参考スレ

薄八廿蘭やまあゝき辛夷 又黄

和薑蒜

辛夷

夜市阿良未云古不之

大膳式 出蘭龍菱子各一斗

又出蘭一合漬菜料 借馬樂 姑子我 ワト あれとつゞきの

山の也万安良と支てやうやれそらりまきりぐよとくやま
あゝ

やまおほ流

大廿五八也末拾保祿

やまあゝ

大廿八廿三也万知母

やまあゝ

大山菅

薄八廿 山菅

やまあゝ

大四十二 廿四 也万波比

やまあゝ

大四十二 廿六 也万波紀

やまあゝ

大五十六 廿六 也万波良

やまあゝら同物欵

やまげーうみ

和傳薑 ヤハシカニ味辛苦大寒无毒云々日本楮原淨觀謂
黄之和生姜古根也

やまみら

大六十六 薑 也味良 和傳菲 ヤマニラ 又古美良

やまにら

やまひら

やまひら

やまほら

字東花 山保く支

やのうへのこけ

字和四十七 屋遊 也乃字倍乃古介

やのうら

和玉藤

やかやさ のせきわつとるを見エ

やらくいん

為家十首 どののまのやらくいん字のふちとるもいるまえやとす

秋の月 のちの薄八五

やまら カハラサケ

和黄耆 夜波良 久佐 字黄耆 弱久佐 伊字黄耆 ヤハラ 獨根 菘

艸 蜀脂 百本 同急カハラ サケ 大五九七 也波良久佐 菘 黄耆

長蒼実 也波良 久佐 本和上三

やまら

大世六八 也波豆良

やまら

大七七 也波豆波

やうきく ほか、各見ユ

やちのこかも

大苗 辛也知乃美加波

やいん所 ヤキヤ、ヨモキ、エモキ

やいもんき

やきん所

名艾 ヤイクヤ 醫草 ヤイクヤ 延熟艾 ヤイクヤ

和傳艾葉 也支久佐又

やへむらり ヨモキ ぶら、各見ユ

やゑら ヨモキ くら、各見ユ

井行

ぬのこつち 井ノコツチ、ツナキヤ

ぬのこつち 井ノイヒ、イナキヤ

ぬのこつち

本和 去 牛膝 為乃久都知一名 伊字牛膝 井ノコツチ、ツナキ

和牛膝 為乃久豆知又云 字牛膝 為乃久豆知又為乃伊比又云

藻八四二 牛膝 ぬのこつち 長牛膝 為乃久澤知 傳屍方

ぬのこつち イ又トキ

本和 上 罍 諸魁 為乃止岐

ぬのみどり 井ノミドリ

本和 上 罍 井中苔 為美止利 医為乃美止利 和傳 井中苔

乃萍 伊乃美 伊字 井中苔 及萍 井水 藍井底泥 井華水 止利

井ノ之
トリ

ぬちこまめ

和珂字豆 井知古末女

ぬサキノヒリサシ
イクサ、ホソサ

和蘭 音名和名為弁色 字唯平支又 和玉蘭 井名蘭クサ

和傳燈心草 為久佐

東北院職人哥合のうすかきぬのるそぬれうきぬえり
海きぬの下のねい

ぬき 見え

由行

ゆり セノユリ・サカユリ
ハユリ・サユリ

本和上主百合由利 和百合由皇 字百合由利名磨苗維リ

類往百合草 ヌリ 長百合 ヌリ 大五 一差加由利

紀廿四十六

万七苗 道邊之草深由利乃花咲尔咲之柄ニ妻常可云

也 六帖六 同八元ヒユリ 同十八八サユリ 同四十四ハユリ

六百番 初五ヒユリ

ゆあさゆ

大五十九 由布差祿

ゆあばた

大五十二七十三 由布波太

ゆふかほフクハ

大五五 共 由布加保少彦遺方壺蘆

枕三 三

ゆふかほフクハ

万四世 箕部 我宿の夕蔭草のゆふかのけぬののしほ

ほゆふかほ 大夕蔭草 澤八世三澄

ゆみつらのイハクスリ、

字石斛 弓豆呂乃志

ゆき

万十六 それをさす取文とゆき道の一代ゆきよ

それのゆきよ

与行

よふひヨモギ かのりち糸見エ

よふヨモギ ヤクサ・ヤキクサ

本和上世五 艾葉与毛 名艾ヨモギ 艾ヨモギ 蕪アシ ヨモ

ハヨモギ 高ヨモギ オハキ・カラ 蓬ヨモギ 蘭ヨモギ 葦ヨモギ

和玉艾 又 蕪 又 蓬 又 艾 又 蕪

六帖六ヨモギ 取ゆふヨモギ ちゆふヨモギ ちゆふヨモギ ちゆふヨモギ

る人ヨモギ けぬヨモギ 又 ちゆふヨモギ ちゆふヨモギ ちゆふヨモギ ちゆふヨモギ

ちゆふヨモギ ちゆふヨモギ 万十六 長 ちゆふヨモギ ちゆふヨモギ

ちゆふヨモギ ちゆふヨモギ ちゆふヨモギ

よふヨモギ のヨモギ

本和上世五 高慶 是蒿茎同白毛慶也

和行

わたし 一タヒ

名菊醬 木タヒ 華掬 木タヒ 内膳式 和太 備

わたし

今昔廿八和多利 毒菌丸由見工

わたし

本和下 丸 山葵 和佐 比 和傳 同 延山薑 ワサヒ 和山葵 和佐

此名葵 和サヒ 山葵 木サヒ 山薑 木サヒ 長山葵 ワサヒ 和

玉菱 又菱 ワサ

わたし

撮壤年中行事 九月下内膳司供早氏 早ウリ

わたし

曾丹集 月終 わきまをどきり、今まあをきく、あな
をねる あなをきくをきく

わさし、アサ、
名衛 アサキ

わら
字蒟蒻 同 和良蒿同 和玉機又控又得又結又菊又

蒿
万五長 ふせいのまきつほのちよまをい川うまらき
せぬ くま

わらし、
和玉蓮
わらほも

大五十四七十九 和良波母

わらむ

本和下甲 蕨菜 和良比 字蕨 古月比 蕨 蕨の葉 蕨 蕨の葉 蕨 蕨の葉 蕨 蕨の葉

又土陰孽 保之和 上んは漢拘ノ字語テヨ三入元 延狗脊 ワラヒ

名薇 ナウヒ 薇蕨 ネワヒ 和玉蕨 又薇

六帖六 ハハヒ 三吾 此の山のをみとちささる水はひのもの

由 煙るらり又草よりちりちりも足ぬ草の葉を注

こつ ひそ名付そあむ 曾丹集 三直 蕨生 やたの度

那 こよむれそををさうつてえら里人

わしひの糸

字雷丸

わせいネ

つ糸糸二見一

ワセタシ

和玉植

ワセアヒ

字襟

ワサレオニシコクサ

和萱草一名忘憂和頂礼 名萱ワスレ 萱草俗云火ニサ

和玉萱又護

万土苗 萱草垣毛敏系森 久々久々と云ふと云ふの

カタリ同苗 萱草音ひもよつと云ふと云ふの

ありとも云 同四キ 萱草昔下紐よつと云ふと云ふの

ことり ありとも 同三キ 萱草ゆいもよつと云ふと云ふの

ゆりや ありとも 同二キ 萱草ゆいもよつと云ふと云ふの

泉武部集人のりくと云ふれを云ふの云ふと云ふと云ふ
大和物語下

夫

わつ流 和玉流ノ糸見エ

わふ

名詮 未ナ

わふしもか

撮壤我毛香カレモ 類往予伊カレモ 袂衣三中ワレモカウ
夫辛季道 好まると云ふ人も云ふ人も云ふ人も云ふのも
よき久安百首 安藝 ありとも云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

いそ林の草（草）

わらわ

万共芒 佐敷島のそよよとあいのひらひらと

とまひひらひらとめ式膳 穉海藻

わらわさい 草カケ

名黄菜 谷云木ウサイ
云サハカケ

わらわさい

伊字玄参 ワシヤ

蓋同

恵行

えみらさ

あまふく糸見工

えみのね

本和上世三 女苑 惠美乃称 伊字白葛 正三ノ 和傳 女苑

惠比乃称

えみあか

あまふく糸参考スニ

藻八甲三

女菜

えひのね

えみのね糸見工

えひかつら

スヒカツラ

和傳忍冬

惠比加川良又

えぬのこころ

正ノユクサ

えのこころ

和狗尾草 惠沼能古

名狗尾草 アコクイ字同夫 女子草

名のみエ

和傳子惠乃美

名くら

大五十七二

名ぐ

万十七 為君山田之澤 惠具採跡 雪消之水 尔裳裾所沾
家持集 亦人集 後撰卷上 讀人云 同廿九 足檜木之山澤 田具乎 採將去 日谷 毛将相母者 貴十方 古今六帖六 曾丹集 春始 雪きく 多く
のわがふもつひつきと 長きもねぬ 山(の)さき 詞花春 藤八
七

袖中抄

名あらしき

和傳羅勒 惠安良 支

遠行

をアケ

和玉麻又 求

万七十五

同十四三

同十一世

をアチ

大器 四十二

袁：知

をアチ

大字九 四十五

袁：多分乃波

をアチ

延天雄

をアチ

延紫苑

をとりー カミノヤカラ

名赤箭 コトヲ 長 於止於止之

をとりー 本和上世 鬼督郵 乎止乎止之

をとりー

をりさき

大四六八 表斗利左紀

をけら ウケラ

字泉 乎介良 和玉木 ウケ 長木 於介良

をかしくき アリノヒフキ アサカホ

名苜蓿 ウカトキ 上トキ 下ウカトキ トキ

をかすみ まろ〜トキ 糸見ユ

をかすみ

大五土 雄加豆美

をかすみ 烏喙

大世六土 雄加寸美

をかすみ

大廿八土 袁加豆之良

をかすみ

大四十八土 袁加豆良

をかすみ

曾丹集 六月初 夏之泥の麻のさう はあ〜人の心からさう

まきさね 木抄ハモロコシ

をの流 カラムシノネ

本和七六 芋根 芋乃祢

をち

本和下 芫

芸臺 芋加

和同

名芸臺

ヲチ

芸臺 ヲチ

とみふ

和女郎花

芋美那因之

新撰万葉集云女郎花倭歌云女

倍芝

芋美那因之今案花如莖粟也所出未詳

名女郎花

ヲチハニ

十訓三花

色如蒸栗俗呼為女郎云々六帖云々下女郎花一云云

又秋の好みの種多からしむを花のふりてをるるも似て

るも好む如女郎花秋より好むあふと云々古秋上秋多如て

あふと云々の女郎花天の川あり生ぬらぬら名万四

をみふ 一 さきいりふかきとねうらとみふと

らす あふと云々 同七 七

同八三

をち

和狄 芋木

字狄通

同徒歴又藤狄也

又蕙

胡桂又香竹 蕙

芋芝

荻音莖草

萑 芋芝又并

名狄ヲ

和玉菊

又藤狄ヲ

六帖云々秋風の吹よつたてをるる如く系狄のはあふと云々

あふと云々 類多ふと云々 あふと云々 あふと云々

あふと云々の如く秋万四 あふと云々の あふと云々の

後名やま あふと云々の あふと云々の あふと云々の

をのさくら あふと云々の あふと云々の あふと云々の

をち スギ

大 袁保曾券

息 於保、曾券

